

知っておきたい！

甲状腺の病気と リウマチについて

入場無料
定員250名
手話通訳
あり

プログラム

- 1 知っておきたい甲状腺の病気
内分泌内科部長 金本 巨哲
- 2 バセドウ病のアイソトープ治療有り^マ☑!
内分泌内科副部長 笹井 有美子
- 3 甲状腺腫瘍～手術の適応と実際～
耳鼻咽喉科医長 花本 敦
- 4 知っておきたいリウマチのこと
総合診療科部長 後藤 仁志

2019年 **3月16日** (土)
14:00-16:00

会場

大阪市立総合医療センター
さくらホール

大阪メトロ谷町線「都島」駅下車、2番出口から西へ徒歩3分
JR環状線「桜ノ宮」駅下車、東出口から北東へ徒歩7分

お問合せ

大阪市立総合医療センター
地域医療連携センター

〒534-0021
大阪市都島区都島本通2-13-22
TEL 06-6929-1221 (代表)



知っておきたい

甲状腺の病気

内分泌内科部長 金本 巨哲

甲状腺はのど仏のすぐ下にある、蝶が羽を広げた形をした臓器です。

甲状腺では昆布などに多く含まれるヨウ素を原料として、代謝を促進したり、血中コレステロール値を低下させたりするホルモン（甲状腺ホルモン）を作っています。

甲状腺の病気は、主としてホルモンバランスの異常によるものと、しこり（結節、腫瘍）によるものがあります。特有の症状が少なく、何気ない症状の中に隠れていることがあります。また、検査をきっかけに見つかったりします。

バセドウ病の

アイソトープ治療有り^マ！

内分泌内科副部長 笹井 有美子

バセドウ病は、免疫反応の異常によって起こる甲状腺の病気です。日本では甲状腺ホルモンの合成を抑える薬剤での治療が主ですが、長期間内服を要したり、寛解・再燃を繰り返す事があります。

最近では、日本でも外来での放射性ヨードによるアイソトープ治療が増えてきており、当院では2016年から治療を開始しました。

ヨードは、甲状腺ホルモンの原料であり、甲状腺細胞に取り込まれた放射性ヨードが細胞レベルで甲状腺を徐々に破壊し、治療効果を発揮します。被爆の影響等から、若い女性では妊娠・出産のタイミングを考えて行う必要がありますが、メスを使わず痛みを伴わない治療法であり、長期間の内服例や、副作用が強い場合等では一度検討してみる価値があります。

今回の講演では、治療に向いている症例、副作用、治療の実際等、具体的に話したいと思います。

MEMO

甲状腺腫瘍

～手術の適応と実際～

耳鼻咽喉科医長 花本 敦

近年、健康診断で頸部エコーや胸部CTを撮影した結果、偶然甲状腺に腫瘍が見つかることが増えています。多くの場合、甲状腺腫瘍は良性で、経過観察で問題ないのですが、良性腫瘍でも手術を行った方がいい場合もあります。

また、悪性腫瘍であれば、原則手術での摘出が推奨されますが、小さなものは経過観察するという選択肢もあり得ます。

甲状腺の後ろには、体内のカルシウムをコントロールする副甲状腺、また、声帯の動きを支配している反回神経が存在し、手術においてこれら必要な臓器を温存し、かつ病気もしっかり治すことが大切です。

本講座においては、甲状腺手術の基本的な概念から最新の方法まで解説します。

知っておきたい

リウマチのこと

総合診療科部長 後藤 仁志

「リウマチ」には広い意味と狭い意味があります。

広い意味ではリウマチ性疾患のことを指し、明らかな怪我以外の運動器の病気すべてが含まれます。従ってぎっくり腰も、加齢による変形性関節症もみんなリウマチと表現しても間違いではありません。

一方、狭い意味では関節リウマチのことを指します。かつては進行性の難病で最後は関節がぼろぼろになって寝たきりになると恐れられていたので、今でも心配される方もいらっしゃいますが、もうそんなことはありません。医学の発達により、病気の成り立ちが解明され、きちんと治療すれば進行は止められ、治療しながら妊娠、出産、さらには授乳も出来るようになりました。

この講座ではリウマチ性疾患で最も代表的な関節リウマチを中心に、リウマチ性疾患についてわかりやすく整理し、関節リウマチの系統だった診察方法や最新の画像診断を用いた診断、評価、最新の分子標的療法を駆使した治療を解き明かしてまいります。

